

第2回 ワークショップまとめと提案

信州大学工学部建築学科 羽藤研究室

第2回グループワークまとめ

Aグループ

1. 検討対象

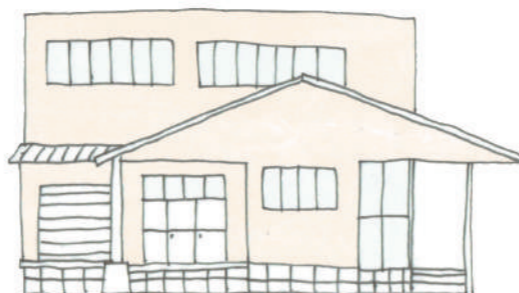
- ・東西小学校、中学校



- ・公民館



- ・旧給食センター



- ・豊野老人福祉センター

- ・運動施設は大切に管理する

2. 公共施設でしたいこと・活動

- ・子供たちが勉強できる場所（休み中も）
- ・農産物加工・公共施設で懇親会ができる場（飲食）
- ・老人福祉センターは現状を維持する



3. グループワークで出た意見のうち信大生が重要だと思ったこと

- ・公民館のコミュニティセンター化（利用の幅を広げるため）
- ・小学校の中に保育園
- ・旧給食センターを町の農産物加工所にする（その他の加工所を集約）

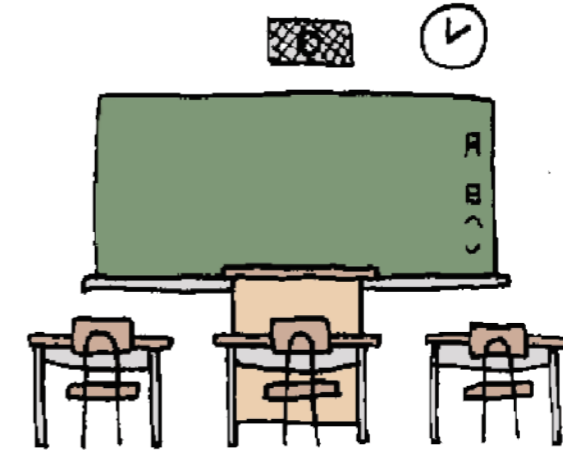
B グループ

1. 検討対象

- ・ 3 地区にある小中学校の活用



- ・ 空き教室の活用



2. 公共施設でしたいこと・活動

- ・ 学校の自由開放
- ・ 農業の交流の場 技術、情報
- ・ 体育館を地元で活用できるようにする

3. グループワークで出た意見のうち信大生が重要だと思ったこと

- ・ 全てを中心に持ってくるのは難しい。(移動距離や防災、交流などを考えると)
- ・ 3地区ごとの拠点は必要 中心：支所など 東：豊野東小学校 西：豊野西小学校
- ・ それぞれの拠点に、近くにある古い施設の機能を入れることはできないか。

○中心部 大きな視点で見ると、施設が比較的中心部に集約されているのは良い。

しかし、関連した機能が別の建物にあり、施設が上手く使われていないので見直す必要がある。

○東西 小学校

- ・ 空き室を利用して、気軽に集まれる場所が欲しい。
- ・ 水がつかからないので防災としても重要。
- ・ 大人も学校を使うことにより防犯になる。(普段見ない人や怪しい人はすぐにわかる。)
- ・ 息子や孫が通っていない学校には行きにくい。

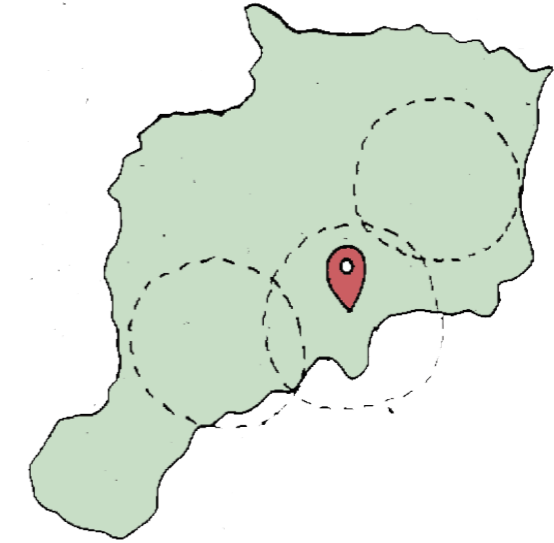
Cグループ

1. 検討対象

・コミュニティ



・中心部を整備



2. 公共施設でしたいこと・活動

- ・ごった煮の場所
- ・用途の複合化

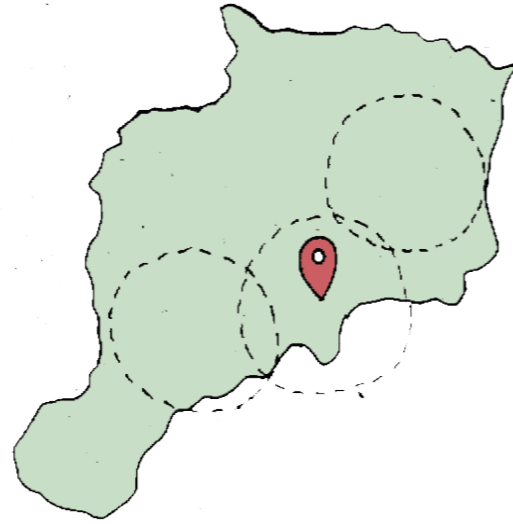
3. グループワークで出た意見のうち信大生が重要だと思ったこと

- ・コミュニティがしっかりすれば自然と福祉や子育てにもつながっていく
- ・コミュニティの希薄性が気になる→見直すべき
- ・中心を活性化させてそれをモデルとして町に普及させていきたい
- ・コミュニティセンターが必要
- ・校長用住宅や教職員住宅いらない？
- ・さまざまな用途や人が集まるごちゃごちゃな場所を作りたい
- ・発展できる地域にしたい
- ・コミュニティは人がいればできるがその人たちを育てるのは公民館などの機能

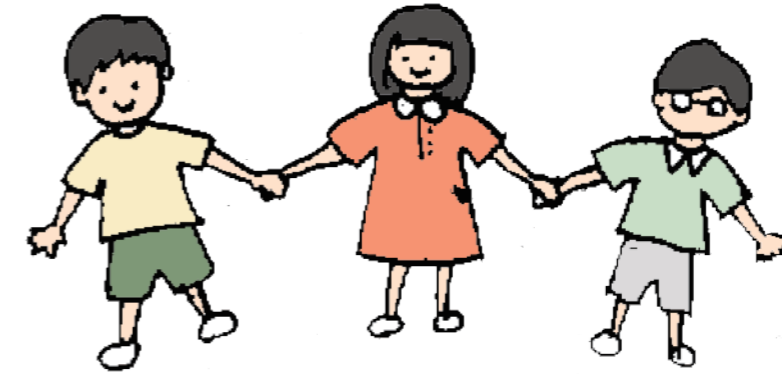
D グループ

1. 検討対象

・ 中心部



・ 子ども



2. 公共施設でしたいこと・活動

- ・ 今ある公共施設を上手く再利用していく
- ・ 子どもたちが学校以外の場で交流できるようにさせてあげたい

3. グループワークで出た意見のうち信大生が重要だと思ったこと

- ・ 公民館とかがやき広場の統合
- ・ 支所でマルシェ
- ・ 公民館に学習ルームを
- ・ 町の中心部をモデルに考える
- ・ 旧給食センターを子ども食堂に
- ・ 小、中学校の空き教室でコミュニティカレッジ
- ・ 官、民一体型の施設

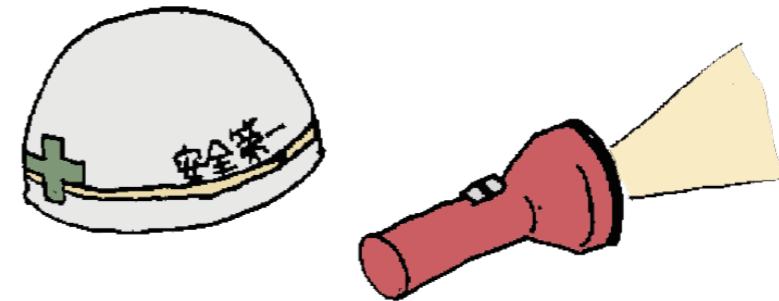
E グループ

1. 検討対象

・子育て（保健センター）



・災害対策（みなみ保育園、防災センター）



2. 公共施設でしたいこと・活動

・中心部に子育て施設と防災施設を集約させる

3. グループワークで出た意見のうち信大生が重要だと思ったこと

○支所の空きスペース

- ・統合されてしまうかもしれない保健センターの機能を残す
- ・児童図書スペース
- ・防災センター
- ・過去の災害について知れるような展示スペース
- ・親子講座（教室や体験）

〈集約型の提案〉 … 中心部への集約 例) 公民館 + α

市側の意見 ⇒ 公共施設の削減を図りたい。公民館の老朽化。
 住民側の意見 ⇒ 施設が足りていない。あれも欲しい、これも欲しい。



双方の意見の食い違い
 どうにかならないだろうか



公民館の建て替えに伴って用途の複合化
 多目的施設による機能の集約化

〈複合化の事例〉



なかまちテラス ⇒ 公民館 × 図書館



郡山市立中央公民館 ⇒ 公民館 × 公会堂



高浜町新庁舎公民館 ⇒ 公民館 × 庁舎



新潟市江南区文化会館 ⇒ 公民館 × 資料館



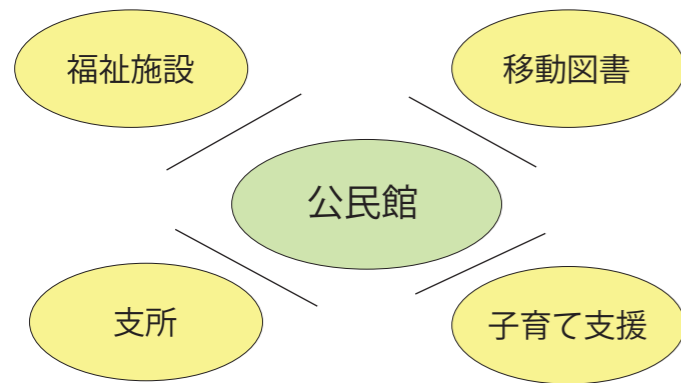
由利本荘市文化交流館 ⇒ 公民館 × 劇場

事例の分析を行っていくと、名称を公民館とし機能を限定している施設は少なく、他の名称を用いて多目的に利用していることが分かった。

豊野における公民館は建て替えではなく、コミュニティセンターとして建てることによって多目的に利用されるだけでなく、世代を超えた交流が生まれていくのではないだろうか。

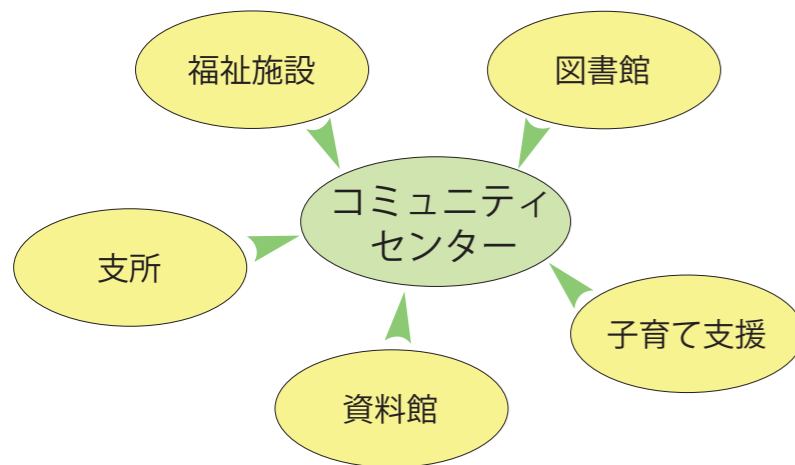
〈具体的な提案〉

(現状) … 中心部に施設が集まるがバラバラ



(今後) … 公民館建て替えの可能性

→ 公民館としてではなくコミュニティセンターに



(複合化例)

「老人が楽しく過ごせるまち」
 「年寄りが1人で家にいない」
 「福祉が盛んなまち」



公民館 × 福祉施設



多世代が集まる多目的空間に

「学生との関わりができる」
 「学生が勉強できる場所」
 「図書館が欲しい」



公民館 × 図書館



学校以外での学ぶ空間に
 移動図書館より時間の制限が少ない

「子供が集まれる場所」
 「子供にやさしいまち」
 「親同士も集まれる場所」



公民館 × 子ども食堂



子どもたちの声があふれる空間に
 親同士のコミュニティが生まれる

「豊野の歴史を大切にする」
 「豊野について知れる場所」
 「過去の災害を学べる場所」



公民館 × 資料館



子どもたちや転入者が豊野について
 知るきっかけに

(複合化における課題)

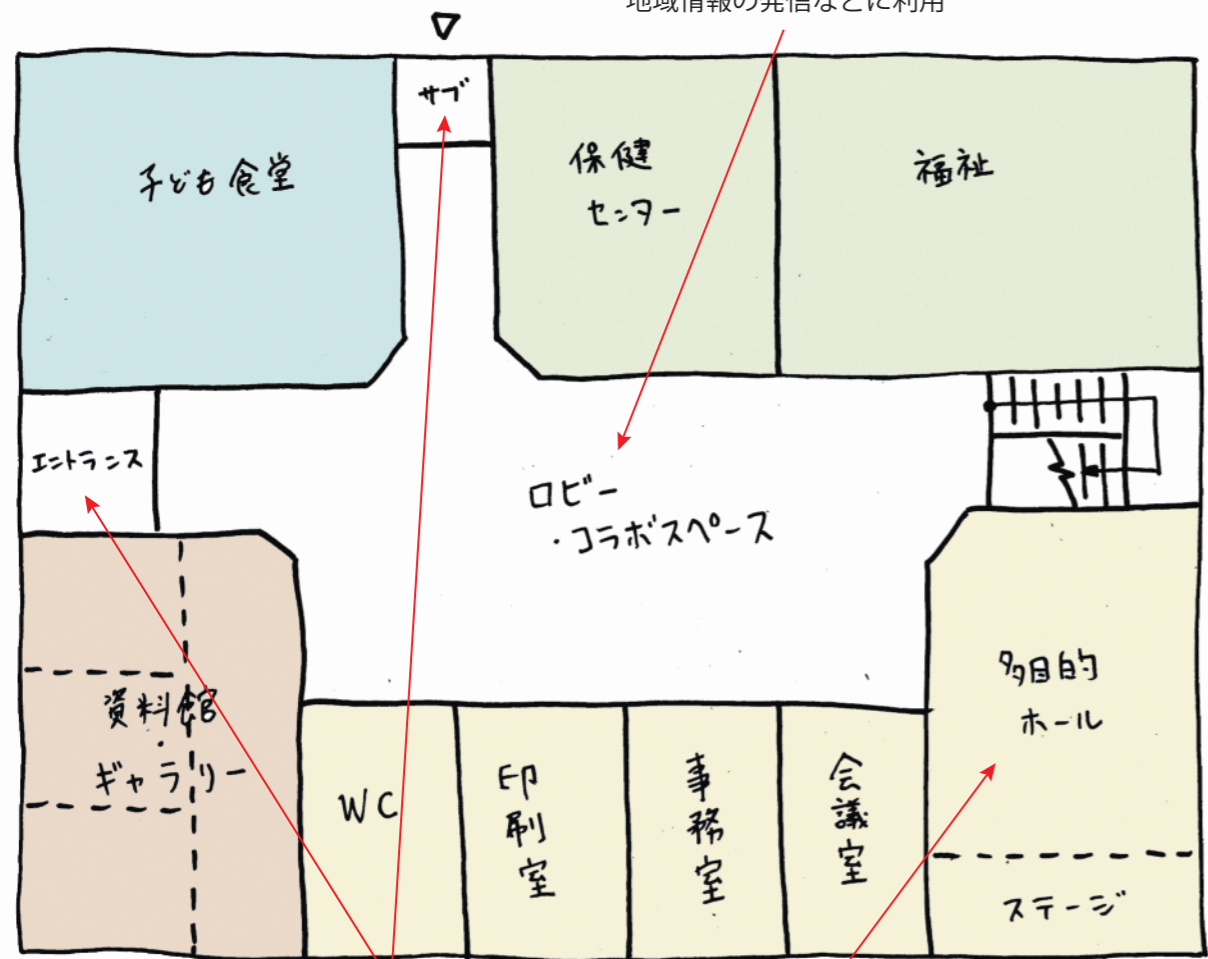
- ・用途ごとの利用時間帯の違い
- ・各用途同士のかかわり方
- ・動線計画

現在、あまり使われていなく老朽化が激しい公民館

この建て替えの計画に伴って、各種用途を複合化させることによって
 住民の声を捉えつつ、**まちの核となるコミュニティセンター**を提案する

〈平面図イメージ〉

ゾーン間の共有空間
かがやき広場としての利用やギャラリーの拡張
地域情報の発信などに利用

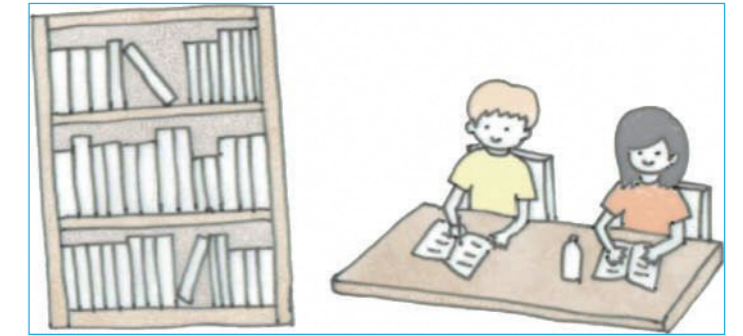
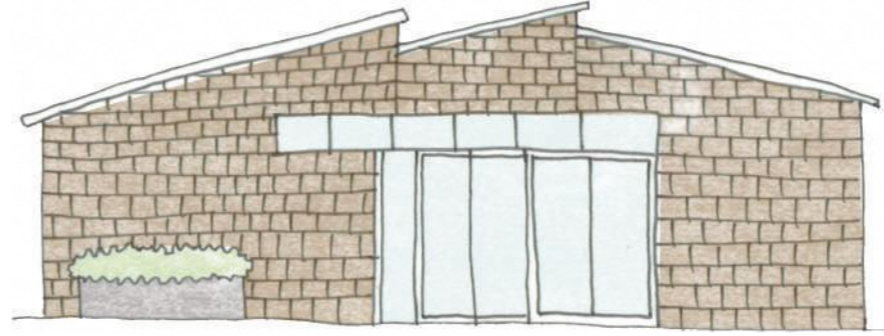


利用時間に応じて開閉

子育てサロンや集会などに利用

〈1階〉

〈複合化イメージ〉



(図書館)



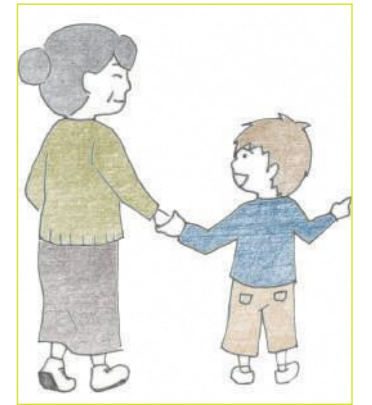
(資料館)



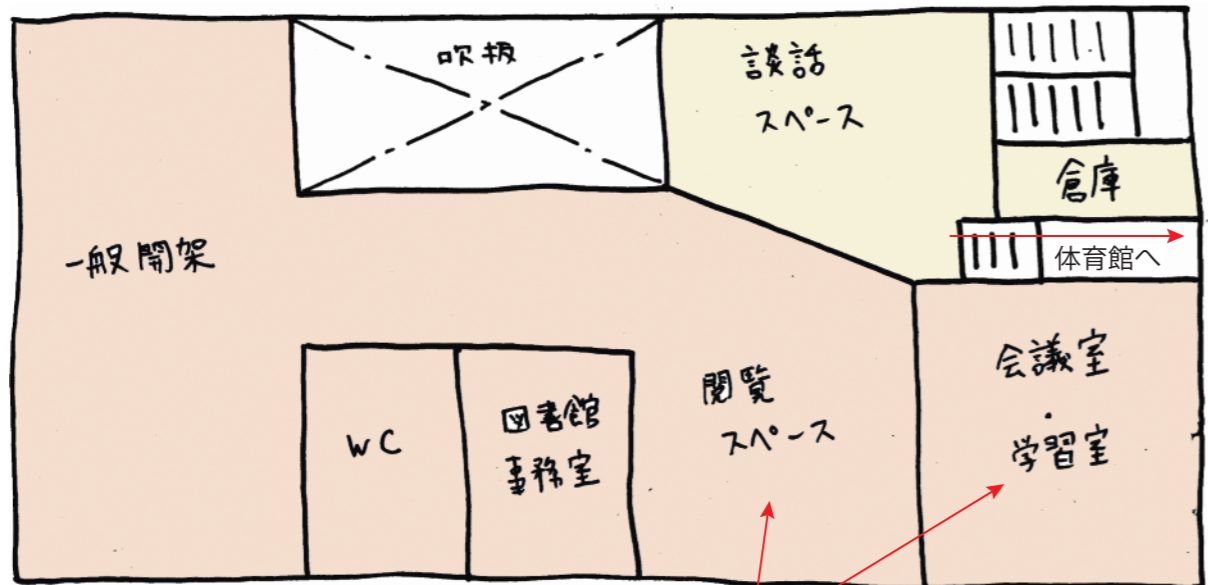
(子ども食堂)



(福祉施設)



世代間交流のきっかけに



子どもたちの学習空間にも変化

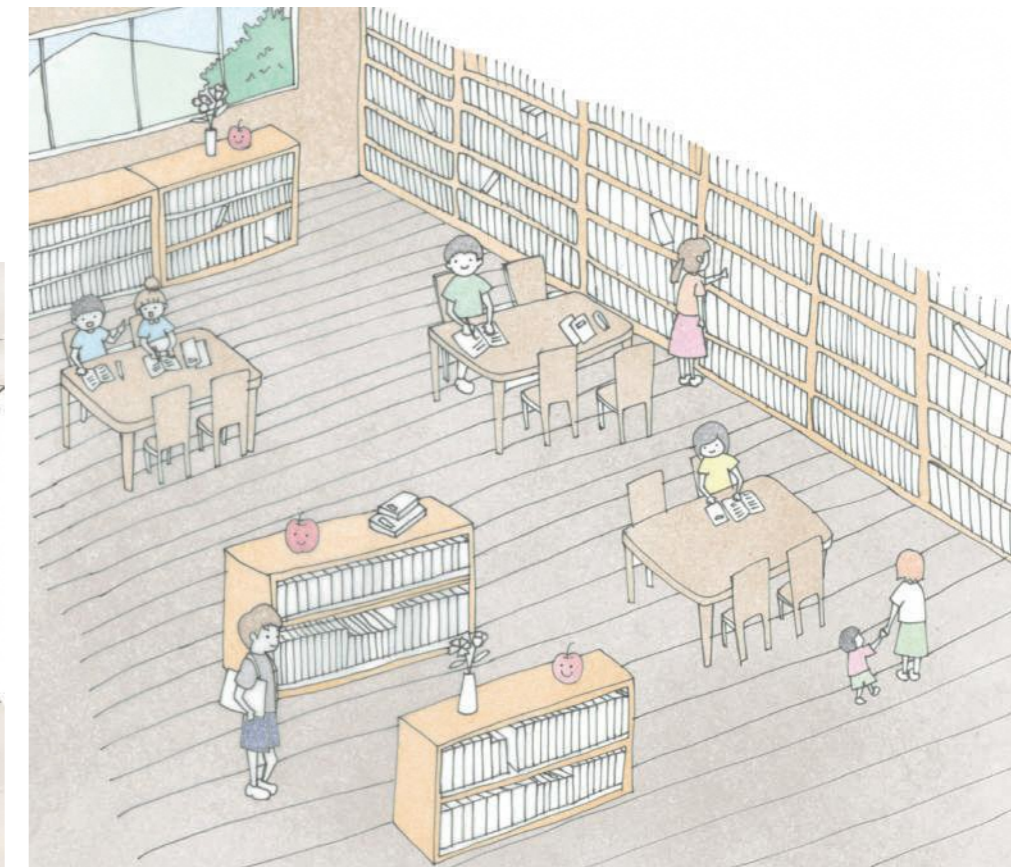
〈2階〉

〈色によるゾーン分け〉

- : 公民館ゾーン
- : 図書館ゾーン
- : 保健・福祉ゾーン
- : 子ども食堂ゾーン
- : 資料館・ギャラリーゾーン

〈内観イメージ〉

下図：資料館・展示スペース
右図：図書館・学習スペース



分散型



全てを中心部にもってくるのは難しいのでは？

- ・地区ごとのつながりはどうなるのか
- ・みんなが中心部に移動できるのか
- ・中心部で市民の要求を満たせるのか
- ・防災は大丈夫か

既存の施設を有効活用

- 1、空き室の利用
- 2、近くの施設の統合
- 3、施設の使い方の工夫

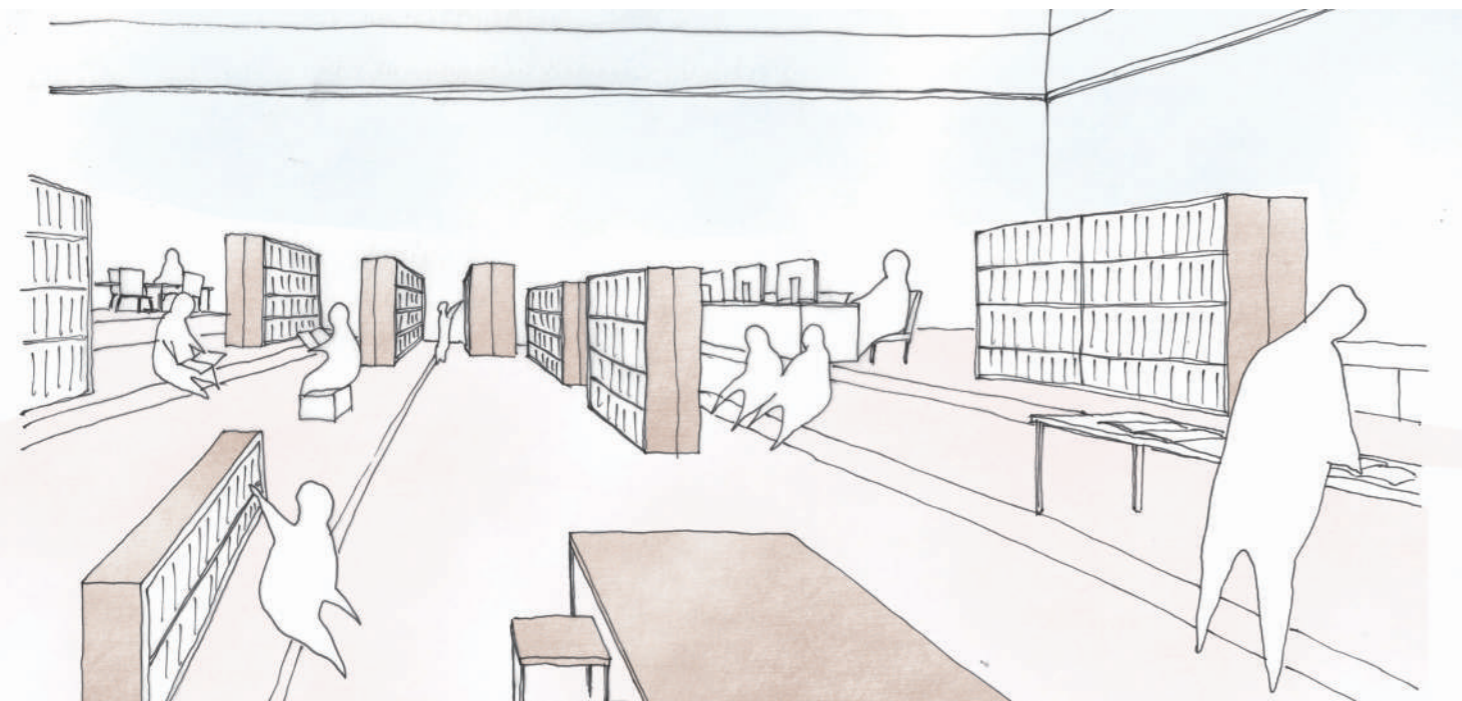
少なくとも拠点は三つ必要なのでは？

- | | |
|-------|-----------|
| 三つの拠点 | 利用する場所 |
| ・ 中心部 | → 中心にある施設 |
| ・ 東部 | → 豊野東小学校 |
| ・ 西部 | → 豊野西小学校 |

交流ができるような場所をつくる

三つの拠点の位置についてそれぞれ提案する

中央	東	西
<p>旧議場</p> <p>物置になっている</p> <p>本棚 (公民館のロビー)</p> <p>本を読みにくい</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 段になっているので視線がずれる ・ 本棚で区切る ・ ゆっくり本が読める 	<p>豊野東小学校</p> <p>空き教室</p> <p>農産物加工場</p> <p>あまり使われていない</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽にお茶できる ・ 加工体験を通じた交流 <p>子どもと地域住民</p> <p>地域との交流</p>	<p>豊野西小学校</p> <p>空き教室</p> <p>保育園</p> <p>老朽化</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代の交流 ・ 地域で子どもを育てていく <p>子どもと子ども</p> <p>地域との交流</p>

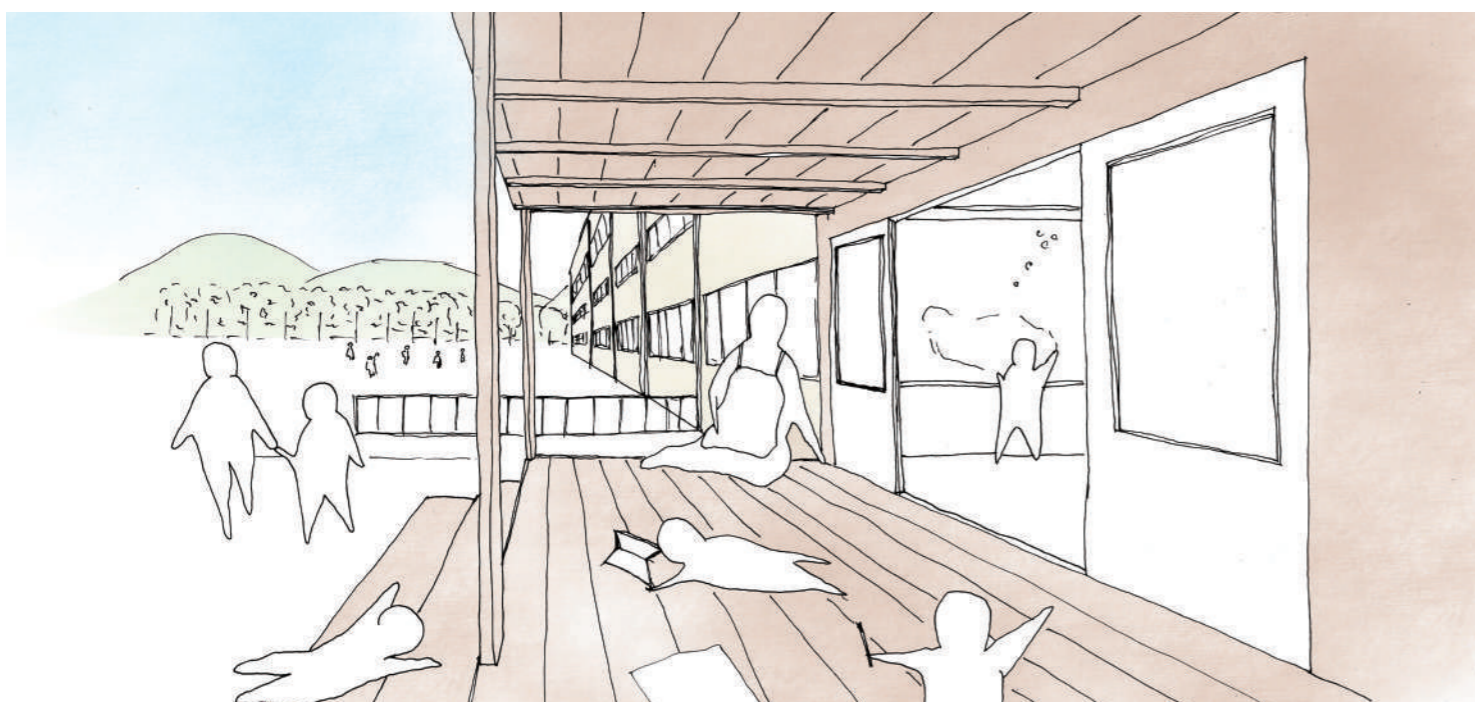
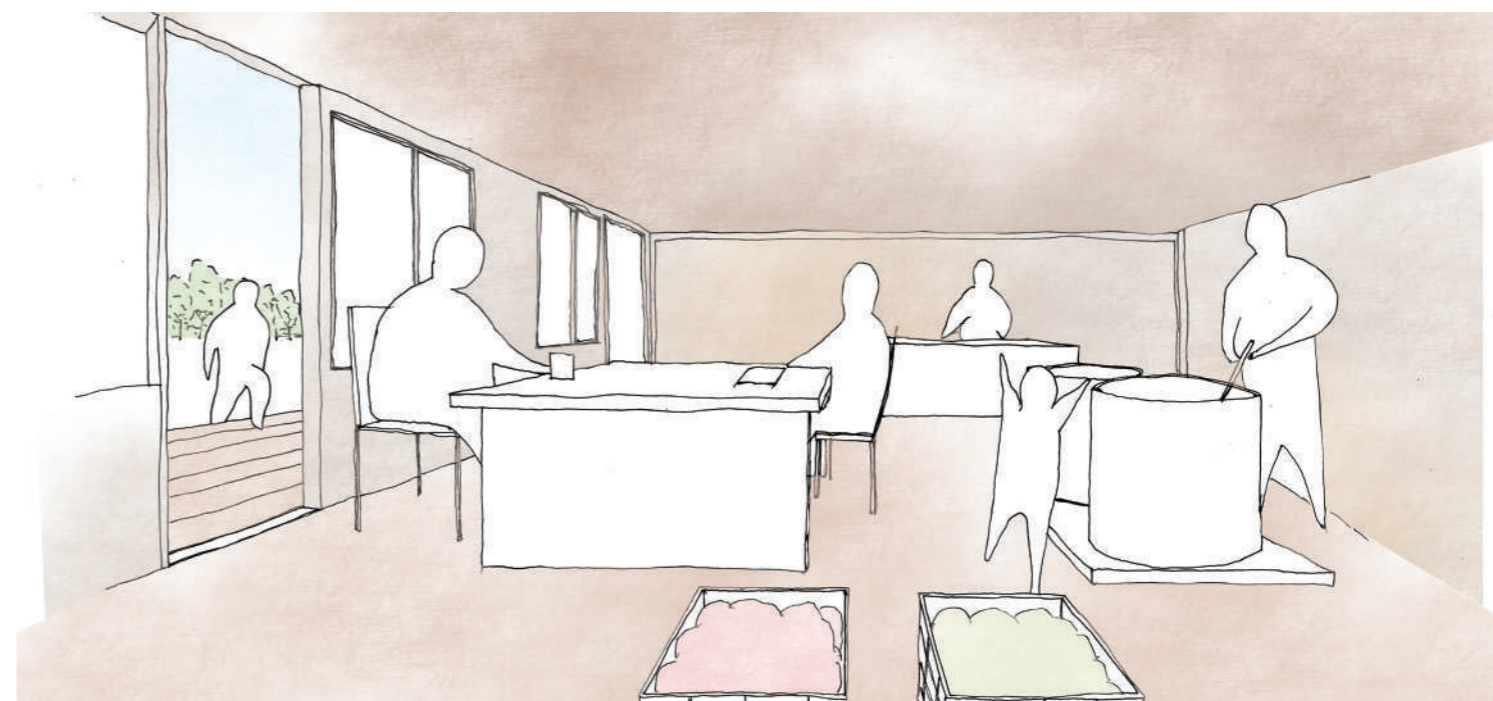


中央

現在、公民館に図書室があり、また、公民館のロビーの所にも本が置いてある。しかし、そこは暗くて本が読みづらいという意見があった。そこで旧議場を図書室として利用することを考える。議場は段になっており、人の視線をずらすことができる。また、段に腰を掛けたり、既存のイスを利用することで気持ちよく本を読むことができる。

東部

農産物加工所は、現在あまり利用されていない。その機能を近くにある豊野東小学校の空き教室に設ける。ここでは、地域の人々が気軽にお茶をしたり、りんごの加工体験を通して、地域の人と小学生、また農家の人との交流を目指す。



西部

西側は豊野西小学校の空き教室に、保育園の機能を入れることにより交流を図る。教室を保育園に変え、その前に屋根とデッキを付けることで、園児はのびのびと過ごせる。小学生と園児やその親が同じ場所に集まることで新たな活動もできる